

企画展

水と生命

せいめい

～川と生き物のつながり～

私たちの生活とは切っても切れない「水」。
その水と私たちを含めた生命との関係を、郷土の自然から探るシリーズ「水と生命」展。今回は「川と生き物のつながり」をテーマに、苫小牧の川や川にすむ生き物を、標本や模型、写真、絵画などで紹介します。

○巨大な地形図で川の姿を知ろう！

苫小牧市全域に加え、支笏湖や厚真川までの範囲を含んだ、幅約3m、縦約1.5mの巨大な地形図を展示します。川がどこを通っているのか？川の流れる周りの地形はどうなっているのか？地形図を通して苫小牧の川の姿をお伝えします。



透明骨格標本：サケのふるさと千歳水族館蔵
樹脂封入標本：札幌市博物館活動センター蔵



シマフクロウ 当館蔵

○川の生き物大集合！見て、触れて、のぞいてみよう！

苫小牧の川やその周辺にすむ動植物の標本や模型を一堂に展示して、川と生き物のつながりを表現します。川の魚を食べるオジロワシ、今では見られなくなったシマフクロウ、川で産卵するサケなど大きな生き物から、水生昆虫やミズダニなど虫眼鏡や顕微鏡で見ないと分からない小さな生き物まで展示します。標本を手にとったり、顕微鏡でのぞいたりできる体験コーナーもあります。

○川を描いた作家の作品を展示！

苫小牧の川の自然をモチーフとした、郷土の作家の絵画や版画を展示します。川の生き物や美々川の原風景などを描いた作品は、川の自然が持つ魅力を今に伝えています。



能登正智《6月 ワッカナイ水源地》1988年 当館蔵

関連イベント

* 担当学芸員による展示解説

日時：4月29日(水・祝)、5月2日(土)、3日(日・祝)、16日(土)、17日(日)、31日(日)、6月13日(土)、14日(日)
各回とも10:00～(約40分)
申込：直接会場へ ※当日有効の観覧券が必要

* 川と湿地の“つながり”を歩こう

ウトナイ湖からトキサタマップ湿原までの勇払川沿いを、動植物などを観察しながら歩きます。※堤防を3キロほど歩きます
日時：5月30日(土) 9:00～11:30
講師：村井雅之氏(ゆづつ草原野自然情報センター主宰)、当館学芸員
集合・解散：道の駅ウトナイ湖 展望台入り口前
対象：小学3年生以上 約15名 ※小学3年生は保護者同伴(先着順)
参加料：無料
持ち物：長袖、長ズボン、長靴
申込：5月1日(金)から電話受付

イベントの詳細はホームページをご覧ください。



[アクセス]

- バス 苫小牧駅南口より、のりば①から「24番」「30番」「札幌駅前行」「郊外線」、のりば②から「01番」「21番」「22番」、のりば③から「13番」「14番」に乗り、「出光カルチャーパーク」で下車(所要時間5分、料金210円)※下車後徒歩5分
- 自家用車 国道276号(支笏湖通)と国道36号の交差点(「苫小牧信用金庫中野支店」かど)を港方向へ曲がり、交差点の次の信号を右折。出光カルチャーパーク内に駐車場(約70台駐車可)があります。

TOMAKOMAI CITY MUSEUM

苫小牧市美術博物館

[愛称:あみゅー]

〒053-0011 苫小牧市末広町3丁目9番7号
TEL 0144-35-2550・FAX 0144-34-0408
http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/hakubutsukan/

最新の情報を SNS で発信しています。

Facebook: @tomakomai.museum Twitter: @tomakomai_amyu